

鈴秀四季



No.72
Winter
2024



厳しい吹雪が過ぎ去り、屋根には分厚い雪を残していった。覆いかぶさる雪に閉ざされて、屋内は存外温かくもある。障子越しの陽射しに誘われて、そろそろと外へでてみると久しぶりに降り注ぐ温かな日差しが、木々に残った樹氷を溶かし出した。

『合掌造り』撮影・OB 小新井 治朗さん

「おせっかいもん」

私が社会人になった頃の一般的な定年は55才で、その方々はちゃんとした爺さんだったと記憶。そんな私も55才となり、若い皆さんからはそのように見られていることは自覚しています。しかし、年齢を重ねることを残念に思う気持ちはなく、むしろ今の自分に楽しみすら感じ、公私ともに様々なことに関わっていたい「おせっかいもん」でありたいと思うこの頃です。

5年前から取り組み始めた風土改革(自然に改善できる風土)。その根本は、社員の皆さんの人生という限られた時間の中で、ムダな作業をして欲しくないということです。まだまだ道半ばではありますが、一部では確実に定着が見られることは嬉しい限りです。「おせっかいもん」は現場を歩くと、とにかくいろいろなことが気になってしかたがありません。設備、行動、匂い等で雰囲気を感じるようにし、気になるところには必ず改善ネタがあるものです。作業をじっと見られて緊張させてしまうかもしれませんが、明らかな規則違反以外で叱責することはありませんのでご安心して下さい。それよりも変えたいこと、疑問に思うことをそのままぶつけてもらえれば、「おせっかいもん」の血が騒ぎ、何らかの判断、アクションをします。その積み重ねが私にできる風土改革と考えています。

どんなに年齢を重ねても思い通りにならないことはたくさんあるものです。それでも思い通りにならないことがあるから人生は楽しいのではないかと、とも思うようになりました。未だ続ける毎朝のジョギング中に一日の構想を練り、一日の終わりに少々のお酒を頂きながら振り返る。できることできないことはあるものの、会社を含む世の中の役に立つことをしているのかと自問自答する毎日です。今後も風土改革に繋がる活動をどんどん仕掛けていきたいと思っています。皆さんにとっては迷惑なこと(来期からの敷地内禁煙はそう思う方もいるでしょう)もあるかもしれませんが、それが「おせっかいもん」に与えられた使命なのだと信じて、益々本領を発揮していきたいと思っています。



執行役員 鈴村 洋司
& 山口第2工場の皆さん

令和の新紙幣、もうすぐ発行されますよ!!

2024年7月頃から徐々に発行される予定の「新紙幣」。20年ぶりの改定で、これまで53種類の紙幣が発行されてきました。

紙幣のデザインとして採用された肖像画、みなさんは誰が描かれたお札が印象的でしたか？

この紙幣に採用された人物は全部で16名。

学問の神様、菅原道真公から始まって現在の野口英世まで。最多登板はなんといっても聖徳太子。中には印刷までできただけで発行しなかった日本武尊（ヤマトタケル）なんていうのもあったようです。

このようにたびたび紙幣のデザインを変更するのは、偽造防止のため。有名なスカシ印刷もいわゆる二セ札を作らせない工夫です。ウソみたいなお話ですが、最近でも巧妙に偽造された一万円札が何枚か発見されているとのこと。印刷技術や設備の進歩と共にそのリスクは高まる一方です。



歴代紙幣の肖像

人物	発行～停止	お札の種類
菅原道真	1888～1939	五円
和氣清麻呂	1945～1946	十円
武内宿禰	1889～1958	一円
藤原鎌足	1943～1958	一円
	1924～1939	百円
	1950～1965	千円
聖徳太子	1957～1986	五千円
	1958～1986	一万円
	1946～1956	百円
日本武尊	1945	千円(発行停止)
二宮尊徳	1946～1958	一円
岩倉具視	1951～1971	五百円
	1969～1994	五百円
高橋是清	1951～1958	五十円
板垣退助	1953～1974	百円
伊藤博文	1963～1986	千円
福沢諭吉	1984～2007	一万円
夏目漱石	1984～2007	千円
新渡戸稲造	1984～2007	五千円
樋口一葉	1984～2008	五千円
野口英世	1984～2007	千円
渋沢栄一	2024～	一万円
津田梅子	2024～	五千円
北里柴三郎	2024～	千円

二セ札を防ぐ10のヒミツ(技術)

1 お札用の紙、不規則な厚さの違いわかりますか？

一般のコピー用紙や便箋と違うのは、なんとこれもお札独特の手触り。不規則に厚さを変えることで、バラバラだけでなく重厚感が出ています。



2 背景の連続縞模様にしかけあり

肖像の周囲に描かれている緻密な縞模様は一見、連続的に見えますがさにあらず、あえて不規則な模様にする事で、マネシにくくしています。

3 隠し文字(潜在模様)がどこかに…

以前は、お札のどこかに隠し文字を施していましたが、現在ではお札を傾けてみた時に文字や数字が浮かび上がってきます。これはインクの凹凸を利用した技術です。

4 パールインキの効果はすぐわかります

お札を傾けて見ると左右の余白部分がパールピンクに色づいて見える特殊インキです。正面から見てわかりません。



5 マイクロ文字はかならずあります

肉眼で確認できない小ささの文字が印刷されています。虫眼鏡でもはっきり確認しにくい文字がどこかに潜んでいます。

6 深凹版印刷で手触りのちがひ

印刷のインキを高く盛り上げることで凹部を作り出し、触った時のザラザラ感を出す技術です。

7 すき入れ(バーパターン)は、スグ見つかっちゃう

お札を光にかざして透かした際、縦に棒状のすきが施されています。

8 識別マークでまちがい防止

先に紹介した深凹版印刷技術をおもて面の上部、左右のどこかに斜線で印刷し、目の不自由な方に判別しやすくしています。

9 光インキで、どっかが光ってる

紫外線に反応しておもてとウラの図柄の一部が発光。

10 3Dホログラムは魔法の印刷

3Dで表現された肖像が回転するという最先端の技術を世界で初めてお札に採用。

新しいお札の肖像となる3名の人物は、いずれも江戸時代に生まれて明治期に大きな功績をあげ、昭和初期に亡くなった人物です。

極東にあって鎖国の島国に生を受けた彼らは、直接的に西洋文化に触れたことで一念発起、経済、医学、教育の道に志を立てた人々です。時代が変わったことは認識しつつも、日常に埋没する庶民を横目に、新しい国創りを担ったリーダーたちは暗中模索で西洋列強に追いつけと文明開化、殖産興業をスローガンにしていました。

渋沢 栄一『日本資本主義の父』(一万円の肖像)



大河ドラマ「晴天を衝け」の主人公、渋沢栄一は今回一万円札の肖像となります。

1840年、埼玉県深谷の百姓地主の家に生まれました。栄一の実家は農作だけでなく、養蚕や藍(染物に使用)の製造販売も手掛ける豪農で、小さいころからモノ作りや商売の知識に触れていました。地域のリーダーとして学業や剣術を身につけるため江戸へ上がるが、黒船来航後盛んとなった攘夷思想に目覚めて横浜の外国人居留地を焼き討ちしました。

勢いを駆って尊王攘夷の志を立てた栄一は、いとこの喜作と共に京都へ。ところが尊王攘夷の最先鋒だった長州勢が幕府勢力によって朝廷から一掃(八月十八日の政変)されたすくあとで、活躍の場はなくなってしまいました。この政変を指揮したのは、後に最後の将軍となる一橋慶喜。栄一たちはほんなことから、この一橋家に仕えることとなるのです。攘夷運動に乗り遅れた栄一の数奇な運命がここから展開していきます。

一橋慶喜は15代将軍となったことで、栄一は幕臣となります。翌年(1867)に開催されるバリの万国博覧会に随員としてフランスへ渡航。かねて攘夷活動していた志士、渋沢栄一が最先端の西洋文明と経済に遭遇してしまいます。株式会社、銀行、産業、経済…。すべてにおいて日本が学ぶべきものばかりでした。急ぎ帰国し横浜港に到着したのは11月。ほんの2ヶ月前、時代は明治に改まっていた。ここでも乗り遅れた栄一、一時は官僚として国事に関わるものの、一民間人として日本経済・産業の近代化に彼が生涯、設立・経営に関わった会社や経済団体の数は500を優に超えます。私利私欲ではなく、日本の将来のために奔走する姿はまさに志士そのものでした。一方で経済を牽引する財閥とは違う敬意を込めて人々は彼を『日本資本主義の父』と称することになります。その活動は1931年(昭和6)91歳で生を終えるまで続きました。まさに令和の一万円札にふさわしい人物ですね。

津田 梅子『日本女子教育の先駆者』(五千円の肖像)



津田梅子は1864年、幕末の江戸で幕臣、津田仙の次女として生まれます。幕府で外国奉行支配の通弁(通訳官)として働く父は1867年、幕府の軍艦引取り交渉使節団に福沢諭吉らと随行。そこで見た「男女平等」や「農業重視」の世界が衝撃的だったようです。明治となり無職ながら様々な活動する彼はキリスト教にも通じ、新島襄や内村鑑三とも親交を深めます。大きな身体で天真爛漫、涙もろくて情に厚い親分肌の人。外交、実業、教育、宗教、農業、そして同志社、青山学院の設立、日本初、街路樹の植樹など幅広く活躍しながら生涯役職を持つことなく「平民」として在野に身を置いた彼のことを新渡戸稲造は、彼の没後、「大平民」であったと讃えました。

明治4年、時の政府高官たち自らが米欧訪問を行う「岩倉使節団」に随行する女子米国学留生の募集がありました。娘にどうしてもアメリカを見せたい津田仙は、迷わず応募。津田梅子6歳の時でした。結婚適齢期を考慮して最年少の梅子を筆頭に14歳までの5名を選抜。途中で目の病と体調不良で2名が帰国。梅子と山川捨松(会津藩家老の妹当時11歳)、永井繁子(幕臣・益田孝の実妹当時8歳)の3人は予定の10年間に米国にホームステイで過ごします。特に梅子はランマン夫妻から、実の娘のように可愛がられ、語学力とピアノの腕前もめきめき上がっていきました。帰国後は3名とも日本の女子教育推進を模索したが、政府のバックアップも叶わず実現には至らなかった。捨松は18歳年長の大山巖と結婚、政府高官夫人の立場で留学経験を活かす道を、繁子は得意のピアノで活躍し日本初のピアニストとなります。後に海軍大尉の瓜生外吉と結婚後も、西洋音楽と教育に携わります。一方最年少の梅子は生涯独身を貫き、女子教育と社会進出に貢献。1900年9月、東京に「女子英学塾(後の津田塾大学)」を開校。生徒数10名からのスタートでした。1929年(昭和4)夏、日本女子教育の先駆者と称される。64歳で没。

北里柴三郎『近代日本医学の父』(千円の肖像)



1853年九州熊本、阿蘇山のふもとに生まれた武芸に励む北里柴三郎は、立派な軍人になるのが夢でした。武ばったことが嫌いな父と母は、何とか学問で身を立ててもらいたい一心で入学させた古城医学所(現熊本医科大学)でオランダ人教師マンズフェルトと出会います。外科的な直接的医学とは違う、顕微鏡を通して見る身体組織に興味を持った彼に、恩師は東京や欧州での修学を勧めました。そこから始まる彼の活躍で世界中の人命をどれだけ救うことになるのか、彼を含めて誰も知りません。

東京での勉学を東京医学校(現 東大医学部)で終え、1886年ドイツに留学。そこで病原菌微生物学の第一人者ロベルト・コッホに師事します。研究に励むなか、1889年(明治22)年に破傷風の純粋培養に成功します。さらにその免疫抗体を利用した「血清療法」を確立し世界的研究者となりました。帰国した彼は、細菌学や結核について研究に取り組みます。そんな折、島国の日本には広がっていないが14世紀と17世紀に欧州に猛威をふるった「ペスト」。当時も3度目のパンデミックが迫っていました。その根源はネズミのノミが持つ病原菌。船舶貨物に粉れて蔓延、脅威は日本のすぐ隣の香港まで迫っていました。1894年(明治27)、実態調査のために派遣された北里は、たったの2日でその菌を発見します。同時期に香港で調査をしていた仏のアレクサンドル・エルザンも菌を発見し、論文を提出。詳細検査の過程で曖昧な結果を残してしまったが故に、ノーベル賞を逃してしまいました。

しかしながら、北里柴三郎の名とその実績は世界の研究者に認められることとなり、その後も後進の育成に従事します。1931年(昭和6)、たくさんの人々の命を救った彼の人生は幕を閉じました。

今回、一番世上で使用される千円札の肖像に、「近代日本医学の父」と称された北里が採用され、あまねく人々の手に広がることで、きっとコロナのような病魔も鳴りを潜めてくれることでしょう。

※血清療法とは

動物に固体を少しづつ注射すると、血液の中の血漿(ケッショウ)という液体が菌に対して抗体を持つようになります。この血漿から抗体を作り出す「血清」部分を取り出して患者に投与すると、菌に対する抵抗力が増すという療法のことです。

ゆきえ ネエさんの 健康イノベーション

男にだって更年期障害、あるんだぜ

ある日の健康相談室。個別面談に来られた男性社員さんからの素朴な質問…。

「なんか、最近気力がわかないのよ、昔みたいに。何かしたいとか、どこか行きたいとか。男の人にもさあ、更年期障害ってあるんでしょ。それかなあ。」

更年期障害。よく耳にする言葉ではありますが、最近までは40代、50代の女性特有のホルモンバランスの乱れに起因する症状だと認識されていました。しかし、ホルモンバランスの乱れは女性ばかりではありません。男性のある年齢を超え、一定の条件が重なった際、その症状に若干の違いがあるものの発症しやすくなります。この【男性の更年期障害】について、要因や症状、発症時期や治療法などをテーマにしてみました。



男性と女性の更年期障害の違い

女性の更年期障害は、女性ホルモンが急激に減少する閉経前後のおよそ10年間（45歳～55歳）に起こり、その後は徐々に慣れて症状は治まります。

男性の場合、男性ホルモンは20歳をピークに40歳以降、加齢とともに穏やかに減少しますが、減少の速さや程度、時期は個人差が大きく、更年期障害は40歳代以降どの年代でも起こる可能性があります。



【男性の更年期障害】=『LOH症候群(加齢男性性腺機能低下症候群)』の原因

医学的には「LOH症候群」と呼ばれ、その原因は**加齢**や**ストレス**。

これに伴う男性ホルモン（テストステロン）の減少によって引き起こされます。

『男性の更年期障害』の主な症状

身体症状

- ・関節痛や筋肉痛（痛みを感じやすくなる）
- ・疲れやすい
- ・ほてりや発汗
- ・肥満、メタボリック症候群

性機能症状

- ・性欲の減退
- ・ED

精神症状

- ・不眠
- ・抑うつ
- ・イライラ
- ・不安感やパニックになりやすい
- ・興味や意欲の喪失
- ・集中力や記憶力の低下



“男性ホルモン(テストステロン)”の役割

テストステロンは筋肉の量と強度を保つのに必要であり、男性の性機能にも重要な役割を果たします。また脳の機能を高め、集中力やリスク回避の判断をすることにも関係していて働くうえでも重要なホルモンです。当社産業医の津田先生曰く、「このホルモン値は朝高いので、集中力や決断力の必要な仕事は朝のタイミングがお勧め」とのことです。

テストステロン値が低くなると、筋肉量の減少、性機能障害だけでなく、認知機能・気分障害、メタボリック（内臓脂肪）症候群、骨密度の減少を生じ、男性のQOL（生活の質）を低下させます。

左に記した症状に心当たりのある方は、「Aging Male's Symptoms score (AMSスコア)」というセルフチェックシートを試してみたいかがでしょうか。男性の更年期障害（LOH症候群）かどうかをチェックすることができます。気になる方は検索してみてください。



『男性の更年期障害(LOH症候群)』の治療

テストステロンの量が、あまり低い場合

まずは生活習慣の改善です。どんな体調不良も、まずは生活を振り返り、しっかり睡眠、バランスの良い食事（特に良質なたんぱく質）、運動習慣、ストレスをため込まない生活。この、どれかが欠けていたらそこから見直します。それでも症状が改善しない場合は漢方薬を、対症療法として精神症状には抗不安薬、性機能症状にはED治療薬などによる治療が行われます。

テストステロンの量が低く、症状が重い場合

ホルモンの補充療法が対象になります。方法としては、薬剤投与を間隔をあけて数回、筋肉注射で行います。但し、前立腺がん、肝臓・腎臓障害、重度の高血圧、睡眠時無呼吸症候群等の持病がある場合、ホルモン補充療法はできません。

『男性の更年期障害(LOH症候群)』の診断

泌尿器科で診療を行っています。まずは相談してみてください。

自覚症状や血液検査の結果、血中のテストステロンの量を診て診断されます。



早春の琵琶湖湖西と比叡山を訪ねる



今回は滋賀県の湖西地区を取り上げました。彦根・長浜・草津といった地域は名古屋・三重からは比較的近い印象ですが、湖西地区は未知の領域かもしれません。1年で最もお出かけをためらってしまう時期ですが、寒風の穏やかな日を見計らって、出向いてみてはいかがでしょうか。

比叡山延暦寺

延暦寺は標高848mの比叡山全域を境内とする天台宗の総本山で、平安時代初期の788年に最澄21歳のときに「一乗止観院」として開かれました。最澄37歳のときに空海とともに遣唐使として唐に渡り、その際に得た新たな教えを広めようとしたのですが、これは旧来の仏教思想とは相容れないものでした。しかし最澄の死後7日目になってようやく認められ朝廷から『延暦寺』の勅額を授かり、以降日本仏教の中心を占めるようになります。

その後寺内での対立をきっかけに僧侶たちが武装をはじめ「僧兵」と呼ばれる軍事力を持つようになります。僧兵たちは神仏の威を背景に時の権力者に自らの主張を無理矢理通すようになり、時の天皇に「手に負えない」と言わせしめるほどの権力を持った時期もありました。最終的には1568年の「姉川の戦い」で信長に敗れた朝倉・浅川陣営が延暦寺に匿われ、引き渡しを拒否したため信長の手によって寺のほとんどの堂塔が焼き尽くされ「僧兵」も勢力を失います。以降、秀吉・家康・家光らが寺の再建をしますが、強大な寺社勢力（僧兵）が復活することはありませんでした。

今では150ほどの堂塔がありますが、最盛期には比叡山全体で3000を超えていたと言われており、広大な山全体が寺の境内となっています。寺は大きく分けて『東塔』『西塔』『横川』の3つのエリアに分かれていて、シャトルバスで往来できます。東塔にある「根本中堂」（国宝：家光により再建された）は10年に及ぶ大改修中ですが拝観は可能で、更に修復の様子が間近で見られる「修学ステージ」が開設されています。他にも「国宝殿」で多数の国宝や重要文化財を観ることが出来ます。

延暦寺には滋賀県側からは大津市内坂本地区（寺の里坊がある）からケーブルカーで登っていくのがオススメ。車でなら「比叡山ドライブウェイ」「奥比叡ドライブウェイ」を利用して東塔エリアの駐車場まで行けます。



湖面に鳥居が浮かぶ「白鬚神社」



高島市の南端にある近江最古の大社とされています。比叡山のケーブルカー駅のある坂本からは車で30分ほどの距離です。全国の白鬚神社の総本社であり、『沖島』を背景として琵琶湖畔に鳥居を浮かべることから「近江の厳島」とも称されています。このお社のイチオシは何と言っても『湖中大鳥居』。目の前の国道を横切って湖畔で見るのは危険（事故多発）なので、国道手前に作られた「藍湖白鬚台」に登ってご覧ください。

境内には歌碑・句碑が数多くあります。紫式部、松尾芭蕉、与謝野晶子らの碑と琵琶湖周辺から鈴鹿山脈にかけての景観を見比べて楽しんでみてください。

高島市マキノ高原の入口にある「メタセコイア並木」

昨年発刊の2023年冬号（No.68）の巻頭写真に掲載した並木です。白鬚神社からは車で30分程の距離です。2.4キロに渡り道の両脇に500本のメタセコイアの高木が並びます。元は1981年に学童農園整備事業の一環で防風林として植栽されたものですが、今では25m程度まで成長しています。

1年を通して楽しめますが、春夏は新緑が、秋には黄金色の紅葉が美しく、2010年9月には「日本紅葉の名所100選」に選ばれています。この時期は冬枯れの並木と遠くの雪山のコントラストが見られますが、木枝と並木の根元に雪が残る幻想的な様子を見られるかもしれません。

並木の途中には「高島市マキノ農業公園 マキノビックランド」があります。車の駐車はこちらの無料駐車場を利用してください。並木の中やアクセス道路は生活道路ですので、路上駐車や撮影の為に車道への飛び出しはNGです。

公園内のセンターハウスでは施設内で生産された原料を使ってジェラートを製造していて、通年で3種、季節販売で5種程の味が楽しめます。好評です。



外輪遊覧船「ミシガン号」ミシガンクルーズ（浜大津）

大津市の中心浜大津まで戻って来て、琵琶湖汽船の「ミシガンクルーズ」の乗船をおすすめします。1982年に就航した日本最大の外輪船（水車型の推進器）ミシガン号はかつてミシシッピ川で運航されていた船がモチーフで、滋賀県と姉妹県州のミシガン州から命名されました。琵琶湖南部を周遊するコースが設定されていて、テッキからの360°の展望や船内レストランでランチ＆ディナー、故き良き時代のアメリカの歌や踊りのパフォーマンスが楽しめます。外輪船ならではの水車（パドル）を間近で見られることもできてメカ好き男子（女子）は思わず見入ってしまいそう。



本社工場から新名神高速経由1時間40分（比叡山ケーブルカー坂本駅）
三重工場からは同じルートで1時間10分

グルメ情報

鮎寿司：琵琶湖の固有種であるニゴロブナを塩漬にし、ご飯と一緒に長時間漬け込む、いわゆる「なれずし」が琵琶湖伝統の保存食として有名な「鮎寿司」です。独特の臭いがあり酒の肴やお茶うけとして人気があります。鮎寿司をさらに酒粕で二度漬けた甘露漬けもあります。



鯖寿司：有名な京料理の一つでもある「鯖寿司」は、特に高島市の朽木地域では今でも祭りや四季の催し物で食される御馳走です。海から遠い京都には、日本海側の若狭沿岸で水揚げされた鯖に一塩をしてから荷車で「鯖街道」を通って運ばれていました。竹の皮に湿度を持たせるなど、保存のためにいろいろな工夫がされています。鯖街道の通る朽木には、鯖寿司・鯖のなれずし、鯖のスタなど、独特の食文化があります。



近江牛：神戸牛、松阪牛と並んで日本三大和牛と称される近江牛。但馬産の黒毛和牛をルーツに持つ血統と、盆地特有の気候、豊富な水に恵まれた環境で育った近江牛の特徴は何と言っても味。きめ細やかな肉質に、しつこくない甘い脂と芳醇な香りを持ち合わせています。オレイン酸を多く含み、脂が溶けだす温度が低く、さっと炙って岩塩をふるだけで、至極の味わいです。

旅の
情報

山口 第2営業課の

石田 公弘さんへ



せっかくの機会、常日頃心ならずも無理なお願ひばかりしている製造部の方々へ感謝を伝えようとも思いましたが、対象者があまりに多すぎて選べる事ができませんでした。考へに考へた末、今の自分があるのは長年苦勞を共にした同僚、石田さんのおかげなんだと気づきました。第二工場もできて従業員も増えた山口工場ですが、一貫して営業業務は3人体制。入社以来、20年以上変わっていません。さらに言えばその間、石田さんはずっと私の隣の席。業務上、異動が少ない部門とはいえ、この奇跡的な関係性は鈴秀でもめったにありません。製造部門が圧倒多数を占める工場にあって、我々は常に外向き業務。市場環境や素材の動向だけでなく、現地ならではの細かな需要家情報を本社から求められます。



全体情報を把握、大きな視野で課題に取り組む本社営業とは少し違う悩みや問題も正直ありますが、互いに相談しフォローしあっている無二の存在です。私にとって、それがどんなに心強いことか、感謝の言葉がありません。

今年、待望の新人が山口営業にもやってくるようです。お互い歳を重ねて、少しばかり若者が苦手になりましたが、立派な人材に育てましょね。

山口 第2営業課 竹原 雄大

山口 製造課の

江本 太志さんへ



我らのメインユーザーさんの市場は、良くも悪くも景気の波を激しく受ける業界で、発注量の振れ幅は安定操業にほど遠いレベルとなります。当然のように営業の私はそのうねりに抗うこともできず翻弄されるばかり。特にしゃれにならない程の「繁忙」情報もたらす圧倒的なその受注量と短納期要請は工場の日常を激変させます。そして、その矛先にはいつも江本さんが…。この一番の被害者？ともいえる彼に日頃から心苦しくも職務を全うせざるを得ない私の感謝の念があまり伝わっていないようなので、この場を借りて「ありがとう」の気持ちを伝えさせてもらいます。



一昨年の年明けから今年の春頃まで続いた「繁忙の大波」。当初は、能力増強を目論んだ新工場も人手が不足。なんとかベテラン社員の八面六臂の活躍と派遣社員さんたちの協力で、客先(私の)要望に必死で応えてくれました。出荷量はそのおかげで、毎月のように過去最高を更新。あのころの江本さんの疲労困憊な姿、今では懐かしいくらいです。

さあ、次の波が控えています。今度は昨年よりも大きなものになりそうです。今は英気を養い、客先(私の)要望にまた応えてもらうことを期待しています。

山口 第2営業課 石田 公弘

山口 製造課の

平川 高志さんへ



山口に第2工場ができ、新入社員や中途入社仲間が増えました。彼らを見て思い出すのは、私が中途で入社した17年前のこと。ボンデ工という未知の仕事に配属されたものの、お世辞にも充分な教育はありませんでした。口数少ない職人然とした職場の先輩たち、「仕事は盗んで覚えろ」的な環境に、途方に暮れながらも見よう見まねで作業についてゆきました。慣れない職場、3時間残業が続く繁忙の毎日、身体だけでなく、若かった当時の私の心もどんどんすり減っていたと思います。

そんな状態の私に気さくに明るく声を掛けてくれたのが平川さん。その話しやすい笑顔とやさしさに甘えて、わからないことはどんどん聞いていったものです。その都度、熱心に教えてくれたことが血肉となって仕事への理解を深めることができました。心が折れることなく、今日まで無事に鈴秀で仕事を続けられたのは、平川さんのおかげです。

若いころから変わらず、誰に対しても分け隔てなくやさしい気遣いのできる平川さんの人柄に救われた人は、私以外にもたくさんいることでしょう。

お互いに結構良い年齢になりました。会社での責任も少し重くなりましたが、今まで培った中年の経験を存分に活かしてがんばっていきましょう。

山口 製造課 江本 太志

鈴秀読書の館 「11枚のとらんぷ」 泡坂 妻夫 著 創元推理文庫

今回紹介するのは、奇術をテーマとしたミステリー小説です。人気シリーズも多い有名作家の著者ですが、奇術師としての側面もありました。奇術での受賞経験や、自身の本名を冠した賞が創設されるなど、そのらの界限でも華々しい経歴の持ち主です。ほかでは見たこともないアイデアを作品に取り込んでいくことで知られる、本そのものに仕掛けが施されている作品もあります。「11枚のとらんぷ」は、そんな著者の長編第一作目です。

本作は三部構成となっており、まず始めに第一部で描かれるのは、アマチュアの奇術ショウと事件の発生、第二部は作中作である「11枚のとらんぷ」、そして第三部で事件の解決編というのが大まかな流れです。

第一部はショウに出演している一人の演者視点で語られるのですが、アマチュアという点もあり、成功するのとかという緊張がこちらまで伝わるような臨場感があります。奇術師である著者だからこそ書くことのできる文章なのでしょう。そして舞台の裏側で練り広げられる少しとぼけたような会話文。この落語のようにも感じられる会話文は、著者の作品の特長でもあります。この表と裏との温度差が面白く、クセになるのです。



「11枚のとらんぷ」 泡坂妻夫 著

第二部の「作中作」とは、作品の中に登場する別の作品のことです。本作では登場人物が自費出版したという短編小説集がまるごと一冊分収録されています。この作中作、単体でこれだけを読んでも十分に読み応えがあります。11の短編から構成されており、その一つ一つが奇術の内容から種明かしまでがセットとなっているのです。実はそれら全てが特殊な条件下でのみ使える実用性のないものという大前提があり、ミステリーで使われるトリックと紙一重のようにも感じられます。また、第一部のショウのような緊張を感じずに読むことができるので、純粋に内容を楽しむことができます。わかりやすいように専門用語の説明や現象の解説など色々な工夫がされているので、奇術には触れたことがないという人でも安心です。そして、この作中作の使い方が本筋に秀逸。

第三部の解決編では、二転三転するような展開や衝撃的な結末、登場人物を掘り下げての深い心理描写はありません。そのため、そういった内容を期待している人残念な気持ちになってしまいかも。物語の伏線自体はたくさん散りばめられていますが、それほど主張しておらず、なかには回収されるまでは忘れてしまっているほどのさやかなものもあります。それだけシンプルなのにも関わらず、緻密に計算された構成のためか、回収されていく様はとて鮮やかなので不思議です。推理シーン以外にも日本における奇術の歴史や奇術の講義など、普段なかなか知ることのない内容も。ラストの少し不穏に思えるシーンも色々な解釈ができます。想像を掻き立てられます。

全体をとおして、奇術愛に溢れた文章で綴られたこの作品。読む前はそれほど奇術に興味はなくても、読み終わってみると生のステージを観たくなった、実際に自分ですてみてみたいような魅力があります。他にも、著者の別作品を読んだ人にかわかわらないようなファンサビシが本文内にあるなど、至るところに遊び心が満載。ストーリー以外の部分でも色々な角度から読者を楽しませてくれます。

奥野安里沙



冬の寒さに凍えそうな毎日ですが、コタツに入ってお笑いはいかがでしょう。今回紹介する芸人は今話題沸騰中のおしゃれで毒舌なお笑いコンビ「**ハイツ友の会**」です。お笑いで冬を乗り切りましょう！

ハイッ友の会



賞レース戦歴

NHK新人お笑い大賞2021
準優勝
あらびき団ゴールドSP2022
菅野美穂賞
M-1グランプリ2022
敗者復活戦10位
THE W2022
大会サポーター賞受賞
ABCお笑いグランプリ2023
決勝進出

京都出身の女性お笑いコンビ、『ハイツ友の会』

タレント・歌手である、あのちゃんにも気に入られたんだとか。京都弁と毒舌が光る不思議な雰囲気、漫才やコントを繰り広げる。「よしもと漫才劇場オシャレ芸人ランキング」では女性芸人1位2位を取るなど、オシャレ芸人としての一面も。

よしもと漫才劇場のYouTubeにアップされている「よしもと漫才劇場 7 周年記念ライブ」で披露した漫才の動画再生回数はなんと50万回を超え、劇場所属芸人の再生回数で1 位に躍り出るほど。さらには翌年の動画ではアップからわずか2 週間で20万回再生を突破するなど話題を呼んでいる。

『ハイツ反の会』の最大の魅力は尖っていながらも共感と呼ぶ漫才。真顔で堂々と社会を風刺する姿勢が妙に「オシャレ」に見えるのだ。

ホケ担当の西野は8/1生まれ。ツッコミ担当の清水は8/2生まれ。2人の誕生日から「ハイツ」とコンビ名を取り、西野が気に入った「友の会」という単語を付け「ハイツ友の会」と名づけたという。

彼女達の芸風とは裏腹に、YouTube等ではにこやかに笑ったりと愛らしい一面も人気の理由かもしれない。



おすすめYouTube

よしもと漫才劇場8周年ライブ「工作」

工作のお姉さん「ひとみおねえさん」とマス
コットの「ムスリ」が工作番組をするも、「ひ
とみおねえさん」のヒステリックな一面が
垣間見えて…。

ゆるさの中にある毒々しさがたまらなく面白い！中毒性振群のコントです。

2019年結成 (NSC41期)
タイムキーパー
しんや
白桃ピーチよびぴ
キャツミ

大阪NSC41期は注目の期！
ラグビー芸人、アイドル芸人、
大道芸人などとにかく個性派
が多い41期。
漫才師は実力派も多く追いか
ける価値ありの芸人集団です。

NEXT Break is...

ナイチンゲールダンス

田谷

おりおり

今回のテーマ **節分** ～せつぶん～

節分とは？ 一般的に「節分」とは、「鬼を追い払って新年を迎える、立春の前日の行事」です。

本来、「節分」は季節の分かれ目である「立春、立夏、立秋、立冬の前日」のこと。室町時代あたりから春にのみ代表されるようになりました。旧暦の「立春」は1月だったようで、(新しい年の始まり)はそのまま(春の始まり)を意味していました。この名残りのんでしょう、年賀状には「初春」「新春」なんて文字が定番です。「感覚的には真冬なのにどうして？」って思ってた人、きっと多いんじゃないですか？

古来より、季節の変わり目にはいつもと違うこと、予期せぬ出来事に見舞われやすいとされています。特に年初めの「立春」前日の「節分」には邪気を追い払い、幸運が舞い込むようにと願って行っていました。大みそかに宮中で行われる鬼(＝邪気)を追い払う行事「追儺(ツイナ)遣らい」が発祥、そこで行われる「豆打ち」が各地に伝わり庶民に浸透していきました。

どうして豆なの？ もともと日本には「散供(サンク)」という、五穀(米、麦、ヒエ、アワ、豆)をまいて「お祓い」や「お清め」をする風習がありました。なかでも豆は(魔滅=まめ)と解釈し象徴的なものとして「節分」に使われました。ただし、豆は(まめ=魔の眼)に通じるため、まかれた豆から芽が出てこないよう生ではなく、真っ黒になるまで炒ったものを使いました。この(豆を炒る)という行為は、(魔眼を射る)という語呂合わせにもなります。

豆まきの手順 地方や家庭によってさまざまな風習があるようですが、一般的な例をご紹介します。

- 1：豆はお供えておく→炒った豆は靈力を宿した「福豆」として扱い餅などに入れて、神棚（目線より上なら良）にお供えておきます。
- 2：時間は夜→鬼は深夜（丑寅の刻）にやってきます。だからできるだけ夜（20〜22時）がベスト。
- 3：奥の部屋の窓から外「鬼は外！」→寒いけれど窓やドアを開け放ち、奥の部屋から順番に「鬼は外！」と外に邪気を追い出します。まき終わったらすぐに戸締り。
- 4：今度は部屋の中に「福はうち！」→部屋に向かって、神聖な「福豆」をばらまきます。合言葉は「福はうちィ」で完璧！
- 5：年齢の数に一つ多く豆を食べる→自分の年齢＋1ケの豆を「年取り豆」と呼びます。食べきれない程の年齢の方は、豆を3粒、縁起かつぎに昆布や塩昆布、梅干しなどを入れ、白湯を注いだ「福茶」にすることもあります。香ばしい豆の香りが広がります。

最近見ないイワシとヒラギ 最近では見かけなくなりましたが、節分には欠かせないのが「柊鰯(ヒラギイワシ)」。魔除けのために玄関先や門口に飾ります。鬼は鰯(イワシ)の生臭さ、焼いた際の煙が嫌いで柊(ヒラギ)の葉のトゲトゲが苦手なんでしょう。そこでこの二つを合体(鰯の頭を刺した柊の枝)させたら「柊鰯(ヒラギイワシ)」。「焼鰯(ヤイカガシ)」や「柊刺(ヒラギサシ)」などと呼ばれています。

最近の定番はやっぱり恵方巻 その発祥は大阪らしい。中身は七福神にあやかって七つの具材。この「福」を巻き込んで出来上がった太巻きは、鬼が逃げる際に忘れていった「せん棒」に見立てているとか。その年の恵方に向かってにっこり笑い、せっかくの「福」がこぼれないように、黙って最後まで食べきるのがルールです。2024年の節分の日 は 2月4日です。方角(恵方)は、**「東北東や東」**です。



節分に食べるものって？ 節分の日には、豆以外にも節分の日になると食べられるものを紹介します。

節分イワシ：マイワシにひと塩した「塩イワシ」。内臓を出した後、粗塩を30分ほどまぶすと水分が抜け、旨みがギュッと凝縮されます。あとは焼くだけ。

恵方巻き：七福神にちなんで、7種の具を入れた巻きずし。「恵方を向いて丸かじりして無言で食べ切れ、願いがかなう」と言われる。

落花生(ピーナッツ)：北海道、東北、信越地方と宮崎・鹿児島県では、大豆の代わりに落花生(ピーナッツ)を殻のままでく家庭が多いそう。

節分そば：江戸時代「年越しの日」でもあった節分の日に、「年取りそば」「節分そば」と呼ばれて大店（おおだな）などで使用人にそばをふるまっていたそう。今でも長野県や島根県出雲地方では、節分にそばを食べる習慣が残っています。

こんにゃく：「体の中を綺麗にする食べ物」として、1年の節目に食べる風習を持つ地域もあります。

けんちん汁：鎌倉市にある建長寺のお坊さんが作っていたのがはじまりとされる。縁起の良い食べ物として、食べる地域もあります。

くじら：大きな生き物の肉を食べるのも縁起の良いこととして、山陰地方などでは節分にくじらが食べられる風習があるようです。

昔の新春の前日である節分に、お好みの行事・食べ物で、リフレッシュしてみてもはいかがでしょうか。



【山口】 村上 達人
長男 ^{ユウガ} 煌河君
2023年12月7日生

selamat datang

1/10
入社



イマム
サフェイ
【第2製造】

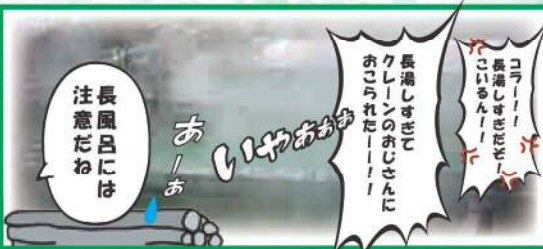
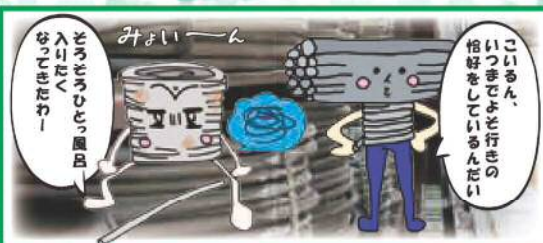


ジュニオル プディ
プラタマ
【山口】



ムハマット
ジャファル
【山口】

 こいるんとスチールパイセン
第2話「お風呂に入ろう」



○結婚おめでとう selamat Berbahagia!!



2023年6月18日 挙式
【CH】ハイルン シャプトラ
NOVIA NUBBACHMANI



2023年9月10日 拳式
【CH】ムハンマド ナズミ
ムフィディン
FITRIA ANASTI



2023年11月25日 挙式
【技術】長崎 要
長崎 晴香(旧姓:井上)

能登半島地震への義援金について

2024年元旦 午後4時すぎに石川県の能登半島を襲った地震(震度7、マグニチュード7.6)は死者200名以上、安否不明者100名以上というささまじい被害をもたらしました。さらに重軽傷者を負った方の数は、少なくとも565名といわれています。辛くも身体害を免れたものの住宅被害は1,400世帯に及び、日増しに被害の数が増えている現状です。

(※この情報は1月10日現在のものです)

奇しくも2023年の鈴秀四季 秋(71)号では地震の特集をしたばかり。もう一度読み返していただくことを強く要請いたします。

この「能登半島地震」において、甚大な被害を受けた方々を支援するために、鈴秀工業として日本赤十字社を通じて義援金(100万円)を寄付させていただきました。とともに社員各位の善意の募金、グループ会社(株)スズヒデからの募金も併せて送金させていただきました。

『鈴秀四季』の目的と役割

- 一、この紙面を通じて、社員相互のコミュニケーションを円滑なものとし、一体感と独自性を持った組織運営の一助となる。
 - 二、この紙面を通じて、鈴鈴の未来・将来へつながらる経営の方向性や方針を、社員及びその家族へ伝える一助となる。
 - 三、この紙面を通じて、鈴鈴社員として会社及びそれを取り巻く環境についての認識知識を共有する一助となる。
 - 四、この紙面を通じて、この鈴鈴で働く仲間たちの活躍やエピソードをピックアップし、一部なりとも紹介できる一助となる。
- なによりも、この紙面は鈴鈴社員各位の協力と工夫によって作り上げられ、その一頁一頁が風土、文化へ昇華することを願う。

次回春号は4月中旬発行予定

新年が明け、2024年の干支は辰ですが、厳密に言えば甲辰(きのえたつ)にあたります。陰陽五行説によりますと「甲(きのえ)」は草木が成長するようにどんどん勢いを増していくという意味があるそうで、昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年になるそうです。

今年は新しい事を始めるのにも縁起の良い年。社訓のひとつに、「つねにチャレンジ精神を以ていかなる困難にも立ち向かう。」があります。ぜひ、みんなでチャレンジ精神を以て踏み出していきましょう。きっと成就するはずですよ。 南部

寒～い日が続いていますが、皆さんはどう
過ごされていますか？この時期だからこそお出か
けしてみたいスポットや、家の中で快適に過ご
すグッズ、お薦めの食など特集で紹介してみま
したので、是非参考にしてみてくださいね。

他の特集では、めでたく二十歳を迎えた9名の社員を、「大切にしている〇〇」とともに紹介しています。また、今年の夏ごろに20年ぶりの改定が予定される新紙幣について、その肖像となっている人物について紹介してみました。快調グズを試しながら、この特集を読んでみてください。蟹

値段をつけると500円くらいかな